

A パート

にんげん そんげん じりつ
人間の尊厳と自立

りょういき にんげん しゃかい
〈領域：人間と社会〉

問題 1 次の記述のうち、利用者の生活の質（QOL）の維持・向上に向けた支援として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 施設入所者が、施設の環境に適応して生活できるように支援する。
- 2 身体的な健康状態を重視して支援する。
- 3 介護福祉職の専門的判断を優先して支援する。
- 4 心身機能の維持・向上を目指して支援する。
- 5 利用者が希望する生活像を重視して支援する。

問題 2 Aさん（79歳、男性、要介護3）は、慢性閉塞性肺疾患（chronic obstructive pulmonary disease）により医療機関に入院し、現在は介護老人保健施設に入所してリハビリテーションに取り組んでいる。在宅酸素療法を導入して在宅復帰し、再び家族と一緒に暮らすことを目標としている。

Aさんは、自宅に戻って暮らすためには体力をつける必要があることを理解しているが、呼吸困難になることを心配して、自分から身体を動かそうとすることが少ない。現在の入浴形態はシャワー浴だが、ある日の入浴中、Aさんは、「シャワーも気持ち良いが、自宅に戻ったらゆっくり湯舟につかりたいなあ」とつぶやいた。

このとき、介護福祉職がAさんに対して行う声かけの内容として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 「同じ病気の方は皆さん、安心のためにシャワー浴をしていますよ」と話す。
- 2 「医師に判断してもらいましょう」と話す。
- 3 「家族とよく相談して決めてください」と話す。
- 4 「入浴の仕方や自宅に戻られた後の生活について、どうしたいかお話を聴かせてください」と話す。
- 5 「安全のために、施設入所中はシャワー浴を続けましょう」と話す。